



収録Hシーン

- ♡ 淫獄触手洗脳1 -刻まれる淫紋-
- ♡ 淫獄触手洗脳2 -雲散霧消 洗脳完了-
- ♡ 絶対服従宣言公開オナニーショー -淫魔転生-
- ♡ 墮落の褒美 フェラチオ&パイズリご奉仕 -闇の肥大化-
- ♡ ファーストミッション 奪精騎乗位SEX -完全変態-
- ♡ 贖罪のセルフ種付け出産 -悪因増悪-

悪ち
 失墜ノ
 姫騎士
 I R I S

第一章
 淫獄触手洗脳 淫慾の隷属者誕生編

くっころ

- 序章 -

かつて世界は、淫魔王リリム率いる魔物たちによって支配されようとしていた
その魔の手は小国であるオルデルにも伸びた

世界を守るため、一人の勇者が立ち上がり、オルデル国騎士団と共に
淫魔王リリムと戦った
死闘の末、勇者は淫魔王リリムの討伐に成功し、世界に平和が訪れた

その後、勇者はオルデル国の皇子と結婚し、国王となった
勇者は、周辺の国々と協力して強固な国作りに励み、オルデルは大国となった

百年後、平和を謳歌するオルデル国に若い娘を攫うオークが現れた
姫騎士アイリスからこのオーク討伐の命を受けた一人の騎士がオルデル国を
後にするのだった…

CHARACTER

ステータスリスト
種族：人間
体力：B+
魔力：E-
攻撃：B+
防御：B
魔法：E-
耐魔：A
俊敏：A
知識：B+

第一章の主人公

才能溢れる若き女騎士 ~ 紫月 ~

数年前に漂流されているところを姫騎士であるアイリスに助けられた異邦人。助けられる以前の記憶は、名前以外全て失っている。アイリスとは友人関係であり、恩人で友でもある彼女を守るため、騎士となった。魔法は使えないが、高い耐魔力と卓越した剣の腕を持ち、オルデル国の騎士団の中でも屈指の実力者。また、竹を割ったような性格と最年少の騎士団員であるということから皆に妹分として可愛がられている。

「すっかり日も暮れてしまったわ
オークの目撃情報があった場所は
この辺りなんだけど…
早く攫われた人たちを助けないと
手遅れになってしまうわ…」





「……」

こんな所にこんな場所が……

いかにもって感じね

それに魔物の気配を感じるわ

オークの住みかと考えて間違いなさそうね

みんな無事でいて……

今、助けに行くから」

(中は洞窟になっていたのね
薄暗いし、魔法トラップがいたるところにあつて
気が抜けないわ)

こんな仕掛けは知能の低いオークには出来ない
どうやらオークを裏で操っているものがあるようね
ウツ、それにしてもこの濃い瘴気…長居は禁物だわ)

「ククツ、飛んで火にいる夏の虫ですね」

「誰!? 私はオルデルル国の騎士、紫月
お前がオークを操って人攫いをしている黒幕ね
隠れていないで出てきて、正々堂々と戦いなさい!」



「明察、初めまして
わたくしは淫魔女王リリム
この世界の救世主です」

（触手の化け物！）

「世迷言を並べるな
淫魔女王リリムは、百年前に勇者様に倒されたのよ」

「フッフ、確かに百年前に倒されましたが
霊体となって触手の魔物に取り付き、若い娘の性を
糧に生きながらえてきました」

「それじゃ、オークに攫われた人たちは…もう…」

「察しのとおりです」

「絶対に許さないっ！
たとえ本物の淫魔女王リリムであったとしても…
今日、「ご」でお前を討つっ！」



「何？奴の目がひかつ」

「実に愚か、力の差も判らないとは」

「か、身体が動かない……」

「なに……を……した……」

「魅了魔法をかけました」

「これで貴女は、わたくしの操り人形です」

「声が……でない……から……だ……う……かな……い」

「いいし……き……がなくなっ……て……」

「……………」



「.....」

「憎きオルデル国の騎士…紫月

わたくしの魔法トラップを見抜く観察眼

瘴気に耐えることのできる耐魔力と鍛えられた肉体

剣の腕も相当なものでしょう

そして容姿も美しい

このまま始末するにはあまりにも惜しい

…決めました、貴女にはわたくしのしもべになっていただきます

オークは、醜く弱いうえに頭が悪いので、

美しく強い、そして賢いしもべが欲しかったのです

貴女との出会いは、運命のようですね

クハッ♥貴女は、わたくしの調教によって身も心も墮落し、

邪悪で淫乱な淫魔へと生まれ変わるのです

嬉しいでしょうっ？」

「ハイ、ウレシイデス、ゴシユジンサマ

ハヤクワタシラチヨウキョウシテクダサイ」



「ん、ん」は…
「確か…あいつの魅了魔法で意識を失って…
触手が絡みついでいて…う、動けない
しかも、服まで脱がされてるじゃない」

「おはようございませう、随分と無様な恰好ですね」

「くっ、殺せ！私は誇り高きオルデル国の騎士
辱めは受けないわ」

「殺すなんてとんでもない
その貧相な躰と清い心魂を犯し尽くす洗脳調教を行い、
貴女はわたくしのしもべ…淫魔に生まれ変わるのです
そして、ともにオルデル国を滅ぼすのです」

「ふんっ、うまくいくかしら？」

私の仕えるべき主は、姫騎士であるアイリス様だけよ！
騎士の誇りにかけて、どんな責め苦にも耐えてみせるわ」

「強がる必要はないのですよ、すぐに快樂の虜になります
それでは、始めます」

「んおほお〜おおおっん〜」

お、おじりの穴にもツ、抜き、ヌキツなさああら〜」

「尻穴も締めりがよくて最高ですよ♡」

気持ちよくて、触手チンポ止まりませんツ♡」

「おほお〜ツッ・ゴリツゴリツマンゴとおじりのス、

ほじられて〜ぎい、きもじ〜ツ♡」

き、騎士なのに、こんなのおツ、ダメなのツッ〜」

「ん♡さあならんツッまじりです♡」

たっぷりと淫靡サーメンを注ぎ込んであげます♡

貴女もイキなさら〜」

「ダメダメダメっえ！なか、ながだじだめえええツッ〜」



「ハイッ……
あ、うっ、うっ、うっ、うっ……
おほおほ♡子宮に刺さる感じが気持ちいい
止めて、止めて……」

「まだまだですよ♡たっぷり味わいなさるー」

「んおおおおおっ、おほっ、オホッ、おホッほ……ッ♡
は、孕んじやうー妊娠っんじやううううーッ……
あゝダメなのに、イヤなのにっ
いくっイグッイっイイいいいッグッ♡
あた、頭がまっじるになりゅ、バカになっじやうッ……
こ、これが、セックスの快感ッ♡」

「ふう……貴女のキツキツの肉穴、なかなかの使い心地ですよ♡
これが淫魔とのセックスです♡」感想はっ♡」



「んへっ~~~~っほおっ♥♥♥♥」

「嬉シヨンとははしたない
ですが無理もないありません、わたしくしの魔精液には、
媚薬と魔淫子が含まれています
舐めの中に出来るほど心魂は邪悪で淫乱に
そして、肉体は姪猥な淫魔へと変わるのです♥
前戯はこれぐらいにして、本格的な洗脳調教を始めます
まずは、性的知識を植え付け、貧相な舐を
淫らで豊満なものにしてさしあげます♥」

「あはあ~~~~っへっ♥♥わたしはあ~~~~っへ~~~~っ♥
あへえええ~~~~♥んへ~~~~わたしはア
まっ、負けえっないっー」

「そうです、簡単に落ちてしまつては面白くありません
もっとわたしを楽しませなさいー」



「ひぎぎーッー耳の中じじ、し、触手、はらっつんぐんぐん……
どんどんじやかに入ってぐりゅー……」
あひよッーッーっ！脳みそっーそッ、のうみぞおっー
ぐちゅぐちゅっで、グチュグチュっでいじらならすっつッー
んおおおおっおおおッ♥エッチな知識がはいつてくっっ♥

ちん♥ぶっといオチンポ♥バッキバキッのデカマラア♥
マン「アナル」ニ本刺しいッ♥だみえ、耐えるのよ、私はああん♥
ふりふりい、♥魅惑の腰使い♥コリコリ乳首で下品なチクニー♥
んじゅるッ、ペロチユウウ♥れるおおんッ、フエラチオオ♥
シ「シ」チンポセンズリイ♥フル勃起クリトリスもシ「コリあげりゅ
欲しいー！いらないーんほおちいーザーメン♥子種汁♥孕み汁♥
「ごんなのー！知りたくないのっーでも気持ちいいのいいおんッ♥♥」
「アハア♥その平らな胸も淫靡らしいものしてあげます♥♥」

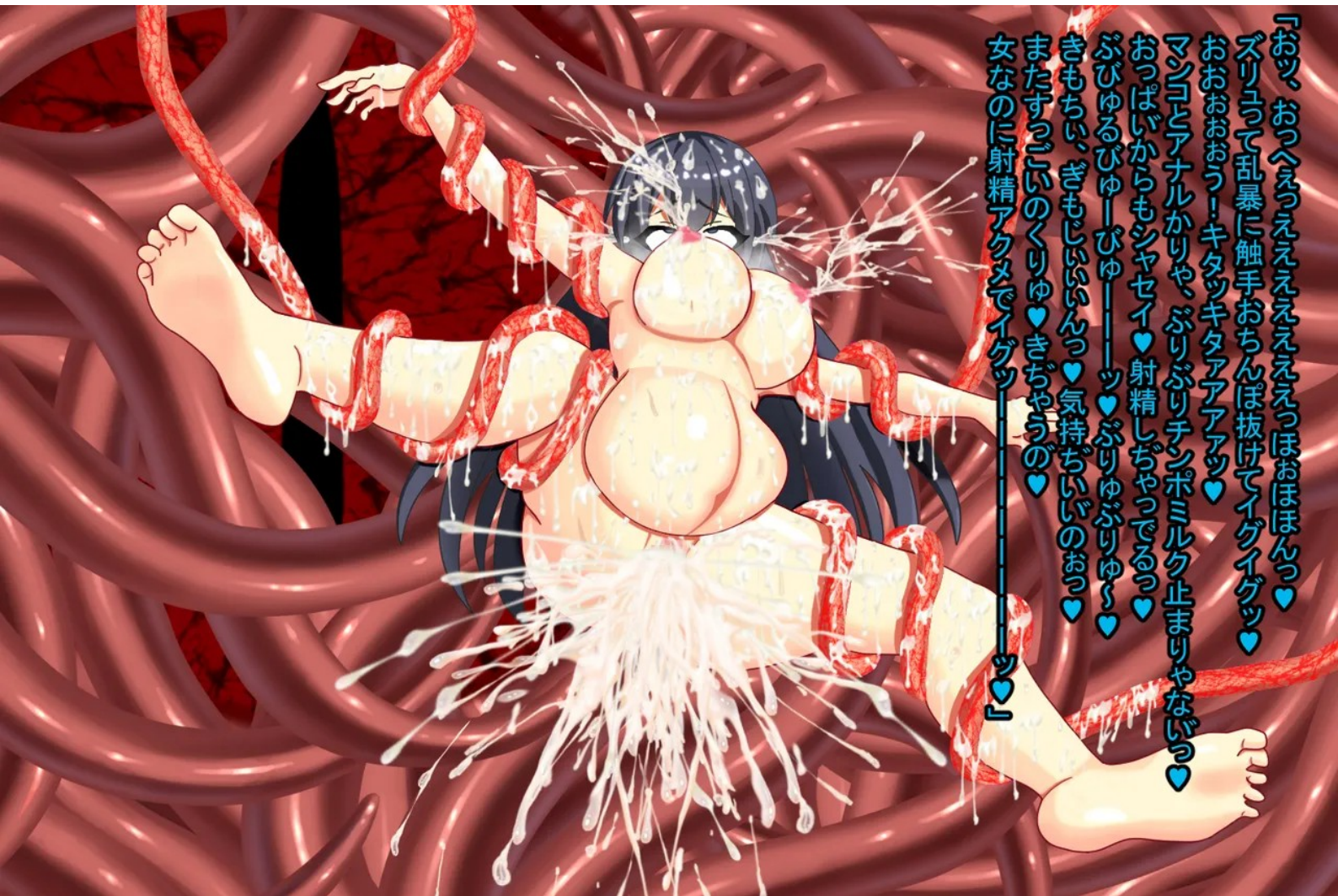


「アハハハハッ、ポテ腹サーメンタングの完成です♡
魔淫子の効果でむちむちでドスケベな身体に
髪も伸びてわたくし好みのメスらしくなりました♡
ぶっつい触手チンポをがちりくわえ込んで離さない
ドスケベ女です♡」

「おおおっつおっつア♡ひゃへっへええ♡
い、淫魔ジャーメンウ、五臓六腑に染み渡りゆっ♡
はあくあああああッ♡」

「ふう♡一滴残らず、淫乱騎士まん♡に精子を
搾り取られてしまいました♡
それでは触手チンポを抜いて差し上げます
ン♡」





「おっ、おっへえっええええええっほおほんっ♡
ズリユッて乱暴に触手おちんぼ抜けてイグイグッ♡
おとおおおう！キタツキタアアアアッ♡
マンコアナルかりや、ぶりぶりチンポミルク止まりやないっ♡
おっぱいからもシャセイ♡射精しちやっでるっ♡
ぶびゆるびゅーびゅーッ♡ぶりゅぶりゅー♡
きもちい、きもじいんっ♡気持ちいいのおっ♡
またすっ♡いのくりゅ♡きぢやうの♡
女なのに射精アクメでイグッ♡」



「ア~~~~~♡♡♡」

「淫魔の証である淫紋が刻まれました
今の貴女はもう人間ではなく半淫魔です♡
これからはわたくしの触手チンポを自ら求め、
貪るようになるでしょう」

「所詮は、淫欲に溺れる卑しいメスだったのじゃないですかね」

「おおおおお、ちんぽオオツ♡♡♡」

「わ、私…な、おっぱいがこんなに大きくお、重い、躰の肉付きも良くなって…髪も伸びてるそれにお腹の様子は、一体何なの?」
「うっ、躰中が火照って…疼く! 触手チンポ♥オチンポ欲しい何を考えてるの、しっかりしなさい!」

「それは淫魔の証である淫紋ですが、貴女はまだ半淫魔…その淫紋が完成した時、貴女は完全に淫魔へと身を墮とし、私の眷属、しもべとして生まれ変わるのです」



「ふ、ふざけないで、嘘よ、私が半淫魔?」

私は人間よ、誇り高きオルデル国の騎士

アイリス様を、みんなを守る騎士なんだから!

（ちんぽ♥チンポ♥オチンポ♥触手おちんぽおんっ♥

ダメ、躰も心も触手おちんぽをほしがってる）

「嘘ではありません
その証拠におまんこやアナルといった性器はもちろんのこと
舐中が切なく疼いてわたくしの触手チンポを
求めているのでしようか」

「くっ、そ、そんな訳ないでしょ」
「リムの触手おちんぼ♥濃いザーメン♥ほ、ほじいつ
何を考えてるの、欲望に流されてはダメッ！
心頭滅却すれば火もまた涼し！心を落ち着かせるのよ」

「フッ、もうひと押しのようなですね
半淫魔となった貴女の感度は、人間だったときの数百倍、
その舐でいつまで耐えられるのか見ものです」
「はい、さ、さらに魔精液を注ぎ込んで
貴女の本性を暴いて差し上げます」



「ひいイッーへっ♡アツツッへっーッ♡
メス穴と糞アナツ♡極太触手ちんぽお♡二本差しイッー！
ちんぽ、オツ♡乳首マン♡にもぶっ刺されで、イグイグイっ♡
オホッ、おっっほひよお♡♡♡」

「ほら、どうしたのですか？
貴女の正体は正義の騎士などではなく、
突っ込まれればよがり狂うだけのただのメスブタです」



「ち、違っ、わたしはみんなっ！平和を守る正義の騎士ッ！
おるでとる国のお！アイリス様のぎしなのっっ！
メスブタッ♡なんかじゃない！
触手おちんぽ様になんか屈しないい！」



「自ら淫語を発している」にも、気が付いていないようです。ね
たわいもない、「」の射精で完全「墮」としてさしあげます」
「大好物の魔精液を受け取りなさい」
そして完全に墮ちるのです」

「やめる、あ、熱くてっっっ、ザー汁なんて、ぶ、ぶらぶらの…
これ以上、穢さないで——ッッッ」
「どぴゅっどぴゅっ射精して♡ドスケベ女の子宮に
淫魔ザーメンくらしやぶっッッ♡」

「ぶっっひよお
ブリッブリッの子種汁キタッーあつい♥ぶひっおおおおっいぐ♥
イグイグイグイググウウウウツ♥いきながらじっぎゅ♥
おっひっーもっとお♥ひぐうううー♥キモチイイ♥
ぶひよお♥ブッブッブッブッ♥ぶーぶひんっ♥ブッッ♥」

「やっと素直になりましたね、貴女は正義の騎士ではありません
快樂溺れ、国も主も騎士の誇りも捨てた淫乱な牝ラタなのです
その証拠に淫紋は成長し、さらに淫魔化が進みました」

「ぶひゅ♥チガヴー！わだしはあまもる！あいりすしやみや！
ブヒッ？ちんぽお♥ザーメンもっとお♥ぶっひいいいいんっ♥」

「まだ抵抗をする意思があるとは、驚きました…
それでは脳を直接犯し、わたくしへの絶対的な忠誠心を
植え付けて差し上げます」





「おれえっ~~~~わたしはだりえ？わたしはあ？
おるでとる？きし？あい…りり…すりりり…む？
りりむーりりむツーりりむ様あ〜♥私のご主人様ア♥
そうよ、私はあご主人様の肉人形♥
ご主人様をお守りする牝ブラ肉奴隷戦士い♥
えへへっ♥私の全てはありりり様のものお♥
おへっ♥あへえっ~~~~」

「貴女は何者ですか？」

「ご主人様であるリリム様をお命掛けでお守りするっ
誇り高い牝ブタ肉奴隷戦士でえすう♡」

「ご主人様のために生き、死ぬことが私の悦び、
存在意義です♡何なりとお申し付けくださいさあ♡」

「頼りにしていますよ」

「ですが、まだわたくしのしもべとしては、未熟にして不完全…
大丈夫、わたくしが導いてさしあげます」



「洗脳調教はできているようですが、」

「ここまでは完全に淫魔化しないとは…」

「これは、想像以上の逸材ですね」

「ククッ、完全に善悪が反転し、」

「魔へと堕ちたときが楽しみですよ♡」

「ありとうございますう…この身に余る光栄です♡」

「必ずやご主人様に相応しいしもべになってみせますう♡」

「全てを捨て、この淫魔女王リリムに魂を捧げることが誓いなさい。そして自ら痴態を晒し、秘めたる淫慾を解き放って人間というくだらない殻を破り捨てるのですっ！ さあ、始めなさい」



「わかりました、ご主人様あ♡

では、触手おちんぽに完全敗北した女の

絶対服従宣言公開オナニーショーをご覧ください♡

わたしい、紫月はオルデル国と姫騎士アイリスを裏切り、

騎士の誇りもなにもかもお、ぜえくんぶ捨てますっ♡

偉大な淫魔女王リリム様に忠誠を誓い、

その証としてえ、私の魂を私の全てを捧げますっ♡

わたしはあ、人間を完全に辞めて偉大なるリリム様に

ご奉仕するエッチな淫魔になりますっ♡

唯一にして絶対のご主人様の触手ちんぽさえあればいいのお♡

ぶつとくて熱い触手チンポ大好きっ♡」

「アッ♥クリトリスっ、ぎゅって摘まむのいい♥
潰れりゅぐらいギユって♥んぎッ！潰れるッ！
潰れるオー……ッ♥んぎっつ、気持ちイー……ッ♥
ああん♥今度はあぐちゅぐちゅって♥グチユグチユ♥
メスハツほぐしてホジホジするとお！指が子宮口につ届くっ♥

ああん♥イイイイツ♥気持ちいい♥
もつと奥にい！子宮の中にッ！
もつとお！こねくり回すッ！決るの！
おひいひっ♥はああああん♥
ヴオッ♥し、子宮ッ、身体が熱い！あついっ！蕩けちゃうッ♥

「とっても淫らでエッチです♥その調子ですよ
眠っていた体内の魔淫子が活性化してきましたね
完全に覚醒すれば、素敵な淫魔になりますよ」



「ご主人様♡リリム様♡上手に転生できたらあ
ご褒美ッ！お口まんこにいつ♡触手ちゃんほくたさいっ！
く、ロマン疼くんですう♡お口の処女も奪ってくださあい♡
わたしい、とっても上手なんですよお♡
見てくだささいっ！ご主人様に教えて頂いたこの舌使いっ
んべろっ♡べろっ♡れりおお♡しロレロッレロッ♡
じゅるっ♡むじゅるっ♡むぢゅっぢゅるん♡」

「まったく、欲張りなしもへですな
いいでしょう、約束です」

「むじゅっ♡嬉しいですっ♡じゅるっ♡
じゅるんっほんっ♡じゅぼっつっつっ♡
おほっ♡す、す「このへりゅ♡きちゅっ♡」





「あーあり.....あーん.....♡
あーん.....おおっ.....オオ入.....♡
アアアアアア.....♡
ンンンンンン.....♡
「んんんんんん.....♡
魔力が、快感が溢れりゅ♡リビドー全開♡
しゅん♡しゅん♡の♡最高の気分♡♡」

「これで貴女の全てはわたくしのものです、紫月
貴女はもう人間でもオルデル国の騎士でもありません
町を破壊し、人間を蹂躪して淫慾を貪る邪悪な淫魔
そして、この淫魔女王リリムの眷属、しもべです
生まれ変わった貴女に相応しい新たな名を授けましょう…
アスモデ…貴女の名は、美醜悪姦邪アスモデです」



「美醜悪姦邪アスモデ…私の真名♥ありがとうございます♥
アスモデは、ご主人様に仇なすものを滅ぼす変態牝孔奴隷戦士♥
そして、ご主人様の性戯具、絶対服従の愛のしもべです♥
ご主人様への愛はエターナル♥永遠不滅のエターナルラブ♥
あはああああ♥嬉しすぎてイグッ♥イっちゃうっ♥」

「貴女はただの淫魔ではありません
魔族の中でも上位種である角付きの淫魔、
高級淫魔です
主としてとても誇らしいですよ
これからは、人間では味わえない快樂の世界が
待っています」

「やったあ！」主人様に褒められちゃったあ♡
気持ちいいこと大大好き♡
人間なんか辞めてよかったあ♡」



「リリムさまぁ♥この卑しいアスモデに！お口まんこにい♥
お約束の♡褒美い♥触手ちんぽお♥オチンポくださあい♥
ぶち込んでめちやくちやにしてくださあいっ♥
んべろっ、んべろおっっっ♥レロっレロっんちゅっ♥
んれろおおおっっっ♥んれろおっっへろお♥」



「いいでしょう、約束の褒美を与えます
可愛いしもべに必死に誘惑されては
わたくしも我慢の限界です♥
たっぷりその口まんこに魔精液をぶちまけてあげます♥」



「んっ、ぶっはあ〜ッ♡回まんこだけじゃなくてえ♡
オッパイ♡おっぱいマン♡も使ってッ♡
パイズリ♡パイズリイ〜ッ♡
モチモチのお乳まんこで、触手おちんぼ様を包み込んでえ♡
こねこねしちゃいます♡こねえこねえこねえ♡
んきもじいッ♡いっのっ〜感じる〜感じちゃう♡

お乳まんこの中でおちんぼっ、擦れるの♡
あはあ♡ビクンビクンッで！我慢汁いっぱい♡
ザー処理奴隷のパイズリで感じてくれますっ♡
ああああんっ♡私もっっても感じちゃうてま〜すっ♡
気持ちよしゆぎなの♡乳首ッ、バッキバッキに
フル勃起イイッ♡



「今度はあ、回まんど乳まんの両方を使ってえ」奉仕い
れるれるるっれる♥んべるっれるるおおおっ♥
じゆるるっじゅぼんっ♥じゅぼぼんっちゆるんっっ♥
舌の全部を使ってなめなめっ♥ナメナメえっっっ♥
レロオオ、ブチュンズジュンボッ♥っすちゅりゆるるっっ♥
ぎゅぼっ♥ギョボっ♥ちゅぎゅぎゅぼんっ♥チュンポオオッ♥

んぶっっ♥下品なデカ乳まん」を
ずりゅっずりゅっ♥ぬちゅっぬちゅっ♥
擦りあげりゅのがいいの♥感じちゃうの♥
昇ってくるっ！きちやウツ！漏れ出ちやっ♥
ミルクタンクから特濃ミルクウウウっっっ♥
イグッ♥乳汁っぶちまけながらイちやうっっ♥

「そのオークはもう用済みです
精気を搾りつくして処分しなさい」

「はぁーい、ご主人様♥」

んっしょっ、あぁーんっ♥

ご主人様ほどじゃないけど中々のおちぽね♪

子宮の奥まで届いてイイッ♥どう私のオマンコは？

ヒダのひとつひとつがうねっっておちんぼを刺激してえ

隆圧でがっちりくわえ込んで離さないんだからっ！

天にも昇る気持ち良さでしょ？

んっあー気持ちいい♥」



「んあっ？嘘でしょ！
挿れただけでイったの？このオークチンポっ！
リリム様の命令もろくにこなせない能無しのうちえ、
早漏だなんて救いようがないわ
このゴミ屑！お漏らしチンポっ！
悔しくないの？意地をみせなさい！
もっと私を楽しませなさいっ！」

「ウオオオオオオオオ」



「あはッ♥カチカチのデカチンになったッ！
そうよ、それでいいのっ！
悔しかったら私を孕ませてみなさいッ！
早漏精子じゃ無理だと思っけど
いくわよ、疾風怒濤の腰使い♥高速ピストン運動ッ♥」

「グオオオオオオオオオオオオオオ」

「おほおおおおおおッ♥キタキタアー〜ツツ
駄ちゃんぽからクソザコ精子でてりゅっ!
イグイグイグイグイグイグウウウツツ♥
イイイ♥ぎもちいいい〜
もっとお♥一生分の精子をぶちまけるっ」

「アッアッアッ♥子宮が満たされるっ♥喜んでるっ♥
んおほおっ!淫紋が疼ぐッ♥
背中があっ!ムズムズすごいのきちやうのッ♥
アクメぐりゅ♥くるくるくるぐりゅの」



「オツ———ツ♡
オホツおおおおおおおつ！イグイグイツツグツ♡
淫紋疼ぎまくるっ！ぎいもちいいッ♡
っほんんおおおおおおおつほおっ♡♡♡
お腹、ザーメンタンクうっ♡子宮満タアン♡
んへっあツ、あづい！イ、淫紋灼けるうツツツ！」



「きれいに生命^{いのち}まで喰^く尽くして
満たされたようですね
己の欲望のために他者の生命を屠るのは、
とても気持ちの良いことなのですよ♡」

「最後の変態が始まりましたね
見せなさい！アスモデ！
淫魔としての真の姿を♥」

「アヘツッ~~~~ツツツ♥キモチイイんっ
淫紋アクメでイックウウウウウウウウウウウツツ♥
イイグウウウウツ♥イギイイイイイイイイイ
ギモチイイイイイイイイイイイイイイイツイイツ♥
淫紋イギイイイイイイイイイイイイイイツツツ♥」
（変わってる！再構築されてるっ！今度こそ本当ムア！
私の全てが、リリム様のしもべとして対応しますわっ）



「お待たせいたしました、ご主人様♥
これがご主人様の忠実なるしもべ
美醜悪姦邪アスモデの真の姿でございます」

「漆黒の魂に蠱惑的な美貌、そして禍々しい魔力
もはや人間だった頃の面影は、微塵もありませんね
どこからどうみても立派な淫魔ですよ
これこそ、わたくしが求めていた理想のしもべです」



「光栄です、ご主人様♥
ですが人間であった頃の私は、愚かにもご主人様に
暴言を浴びせ、愚弄し、刃を向けるという
過ちを犯してしまいました
度重なる悪行の数々、誠に申し訳ありませんでした
その償いとしての罰をお与えください♥」

「お仕置きをせがむとは、まったく…
いいでしょう、オルデル国を攻め落すには兵が必要です
自らの触手で自らを犯し、苗床となって
百の魔物を出産するのです」

「かしこまりました♥
過去の償いと未来永劫の忠誠の誓いの意を込めた
絶対服従のポーズでセルフ種付出産を始めます♥」

「ご覧ください、リリム様♥

メス穴とクソ穴が丸見え絶対服従ポーズ♥

すごく惨めで哀れな姿なのに興奮しちゃう♥

ドキドキって胸の高まりが治まらない♥濡れるっ♥

「フッフ、とてもお似合いですよ

変態牝奴隷に相応しい無様な恰好です♥

まんこもアナルもひくついてちんぽに媚びていますね」

「はぁあん♥主人様の視線を感じる♥

侮蔑の目で見下されて嘲笑されちゃってる♥

ゾクゾクする♥感じちゃう♥

もっともっと見てくださいっ！

誇り高き正義の騎士だったのに、触手ちゃんぽに完全敗北した

浅まし淫乱マツ女の末路♥

もう我慢できないッ！イグッツ♥」





「視姦だけ絶頂するとは、真正のマソプラタです
肉穴もグチャグチャになって、準備万全のようですね」

「ぶひいんっ♥準備万全ですっ！」

触手ちゃんぽで子宮をぐちゃぐちゃにかき回して

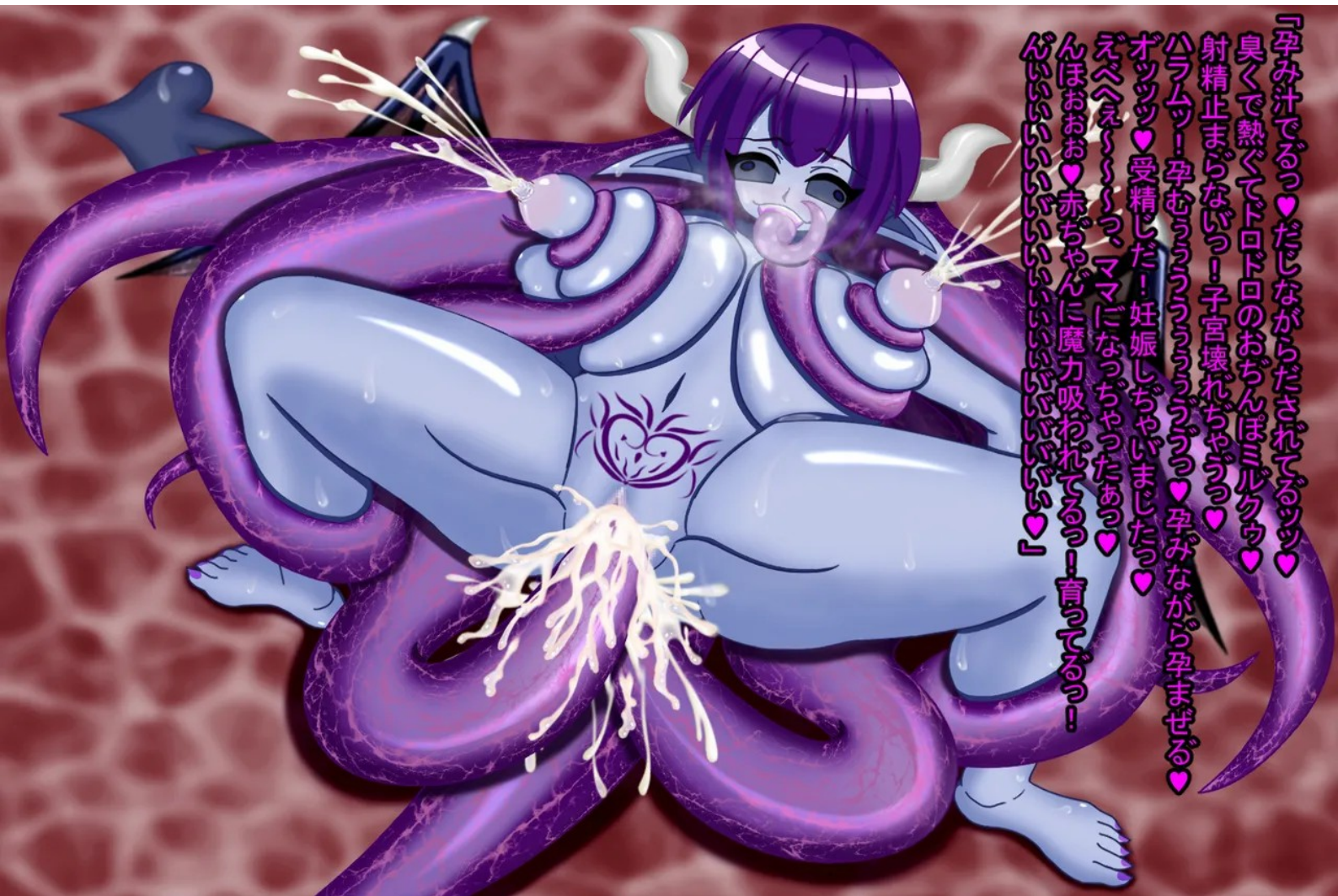
淫魔ザーメンドクドク流し込みますっ♥

たくさん魔物を孕んで生んでみせますっ♥」

「ア~~~~ッ♥極太触手チンポ挿入ッ！
ゴリゴリって子宮壁を押しつけて子宮回をノックしちゃうッ♥
ズボズボ擦り上げて子宮の奥一番深いところお！
赤ちゃんの部屋をメチャクチャに掻き回すの♥
触手おちんぼ感じるッ♥蕩けちゃウ♥」

「まんこもおちんぼに負けるなッ！反撃よお！
膣ビダのひとつひとつでちんぼにギチギチに絡みついて
膣圧で絞り上げるのよッ！
擦れるたびに突かれるたびに快感が昇ってくるッ♥
ぎもじいいッ♥おまんこ壊れちゃウッ♥」





「孕み汁でるっ♡だしながらだされてる♡
臭くて熱くて下ロ下ロのおちんほミルクウ♡
射精止まらないっ♡子宮壊れちゃうっ♡
ハラムッ♡孕むっ♡子宮潰れちゃうっ♡
オツツ♡受精した♡妊娠しちゃいました♡
えへへっ♡ママになっ♡ちやっ♡たあ♡
んほおお♡赤ちゃんに魔力吸われっ♡育っ♡てるっ♡
んほおお♡赤ちゃんに魔力吸われっ♡育っ♡てるっ♡
んほおお♡赤ちゃんに魔力吸われっ♡育っ♡てるっ♡」

「種付け完了です♥ポテ腹妊婦になりまいたあ♥
んっふーんぶぶらっららららっー
ウオオッ！子宮で赤ちゃん蠢いてるっー！
おほほおおおっ♥もう生まれるのね♥
慌てなくても大丈夫よっ
きちんどママまん」からひりだしてあげるっ♥
ひっひっふんふんふんふんふんふんふん♥♥♥

「フッフ、見事なポテ腹です
その淫靡な腹からオルデル国を滅ぼす
魔の尖兵を排泄するのですわ♥」





「ご苦労様です
寄生型の可愛らしい魔物がたくさん生まれましたね
どの子も魔力が高く、いい兵になるでしょう
やはり母体が優秀なのですね」
「お褒め頂き光栄です♥
どの子も自慢の子供たちです
必ずやご主人様のお役に立ちますわ」

「次の命令です」

オルデルトル国の姫騎士アイリスを捕えてくるのです
この百年間、この器で少しずつ力を蓄えてきました
本来の力には、まだ遠く及びませんが、
国をひとつ滅ぼすには十分です

ですがこの器では、今の力ですらその負荷に
耐えることができません、肉体が崩壊してしまいます
それになにより醜い

勇者の末裔であり、天才的な剣と魔法の腕を持ち、
絶世の美貌も兼ね備えた最強と名高い姫騎士である
彼女こそが、わたくしの器に相応しいのです
守るべきだった国も主も国民も裏切りなさい」



「かしこまりました、ご主人様♥」

あの誓いの言葉に嘘偽りはありません
どんな命令でも従います♥私の全てはご主人様のものです♥
それにあんな国やアイリスになど、何の未練もありません
それどころか町を破壊し、人間どもを蹂躪できるなんて…
想像しただけでイってしまいそうです♥」



「油断ならぬ相手ですが、今のアスモデであれば
ほぼ互角に戦えるでしょう
ですが用心に越したことはありません
貴女の子供たちも数匹連れていき、
騎士団員や国民に寄生させ、間者として
紛れ込ませなさい
オルデル国を内側と外側から破壊するのです」

「とても素敵なお考えです♥
私の子供たちが、早速ご主人様のお役に立つのですね♥
それでは行つて参ります」

「久方ぶりの帰郷のはずなんだけど、何の感慨もないわね
なんでこんな国を必死に守ってたんだろ
人間だった頃の私は、なんて愚かだったのかしら
さてと…まずは、可愛い子どもたちの宿主を見繕って
間者に仕立て上げないと♥」





「ご主人様のご命令通りに間者も用意できたわね
それにしても、子供たちみんなが立派に成長して
ママ、感激しちゃった
いけない、感傷に浸っている場合じゃないわ
次はアイリスを生け捕らないと
そうなると…次の目的地は国城ね」

「生まれ、その淫魔！
貴様、どうやって破魔の結界を破り、この城に侵入した
目的は何だ、応えろ！」

「アハッ、見つかった☆
どうでもいいじゃない、そんな細かいことは
もおろお兄さん達、鉄剣なんか振り回してないで
私といいことしない♥溜まってるんでしょ？
それに、せっかく極上の淫魔が目の前にいるんだから
下の剣で相手をするのが礼儀ってものよ
まったく、失礼しちゃうわっ！」

（精気に満ちた美味しそうな雄ども…
アアン♥堪らないわ♥おまんこ疼いちゃう♪
どんなプレイで愉しもうかしら？
それにしても、誰も私が紫月だったことに気が付かないわね
酷いわ、苦楽を共にした仲間だったのにな）

クスツ、でも当然よね、ご主人様のおかげでとってもエッチな
淫魔に生まれかわったんだから♥）



「ふざけるな、調子に乗りやがって
そんな挑発に乗るとでも思っているのか
オルデル国騎士団を舐めるな！
覚悟しろ、貴様はここで処分するっ！」



「んふ、やるき满满♡
バイオレンスなプレイがお好きなのね♡
血の気の多い男は嫌いじゃないわ
さあ、遊びましょう♡」
(城内で騒ぎを起こせば正義感の強い姫騎士様は
すぐに駆けつけてくるはず…
その間、たっふりと愉しませてもらおうわよ)

CHARACTER



ステータスリスト
種族：人間
体力：B+
魔力：E-
攻撃：B+
防御：B
魔法：E-
耐魔：A
俊敏：A
知識：B+

才能溢れる若き女騎士 ~ 紫月 ~

数年前に漂流されているところを姫騎士であるアイリスに助けられた異邦人。助けられる以前の記憶は、名前以外全て失っている。

アイリスとは友人関係であり、恩人で友でもある彼女を守るため、騎士となった。魔法は使えないが、高い耐魔力と卓越した剣の腕を持ち、オルデル国の騎士団の中でも屈指の実力者。また、竹を割ったような性格と最年少の騎士団員であるということから皆に妹分として可愛がられている。

CHARACTER



ステータスリスト

種族：魔族
体力：A+
魔力：A+
攻撃：B
防御：A-
魔法：A+
耐魔：A+
俊敏：A-
知識：A+

淫慾の隷属者 ~ 美醜悪姦邪アスモデ ~

淫魔女王リリムに洗脳調教を施され、淫魔へと転生した紫月の姿。リリムを唯一絶対の主とし、その命令に忠実に従うもべ。人間を蹂躪し、己の慾望のままに命を貪ることを悦びとする邪悪な性格。魔族の中でも上位種である角付きの淫魔(高級淫魔)。人間だった頃よりもほぼ全ての能力が大幅に上昇し、魔法が使えるようになった。得意とする闇魔法は、あらゆる希望を飲み込み、絶望を吐き出す。

CHARACTER



ステータスリスト

種族：魔族

体力：D+

魔力：C

攻撃：E+

防御：D+

魔法：C

耐魔：C

俊敏：C-

知識：C

捕食寄生者 ~ ベルゼビュート ~

美醜悪姦邪アスモデから生まれた寄生型の魔物。

幼体であるが、高い魔力と耐魔力を兼ね備えており、生半可な魔法では倒せない。また、見た目によらず意外と素早く、性別はどの個体も♀である。宿主に相応しい獲物を見つけると幻覚魔法で相手の動きを鈍らせる。その後、複数で襲い掛かり、孔という孔から体内に侵入する。寄生された宿主の躰は淫魔のものへと変態し、魂は成体になるための養分として、消化吸収さる。







